

平成22年度事業報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

NPO 法人どんまい

1 事業実施の方針、活動について

精神障害者の社会参加促進を目指し、生活を取り戻すための活動の場、相談・サポートをできる場等を充実させていくとともに、地域移行支援事業（長期入院の方の退院促進）を中心に、長期入院を余儀なくされていた方々の受け入れを進め、地域での生活を支援できる体制を作り、皆が地域での生活をそれぞれのペースで行ないました。

障害者共同生活介護事業所（どんまいハウス）では、今年度、入居者の安全と快適な住居の提供に力を入れ、こだちの分煙による改築や、衛生面の徹底を行いました。

どんまいクラブはH22年10月に地域活動支援センターⅡ型から就労継続支援B型事業所に移行し、現在は登録人数26名で活動しています。従来の事業所内作業に加え、施設外支援及び施設外就労にも積極的に取り組んでいます。バザーにも積極的に参加し、ベビーカステラ（Don! My Cake）の販売促進に努めています。また新しい自主製品の制作にも力を入れました。

地域活動支援センターゆっくりクラブは、通所者が増えたこと、来年度の就労継続B型事業所への移行を踏まえ9月に三番町に移転しました。配食の「弁当のゆっくり屋」・印刷製本作業の「いんさつの咲々屋」を中心に作業を展開しました。

法人として“まんてん企画”の事業は企業の仕事を作業所で計画的、安定的に高収入が得られるよう、コーディネートする事業で、当法人の2作業所とNPO法人ほっとねっとの口笛作業所の計3施設にマンション定期点検清掃の業務を提供しました。業務開発、あっせんの必要性も落ち着いてきたため、今年度末をもって法人の事業は解散し、各事業所が企業と直接契約し、当事業所が施設外就労「まんてん企画」として継続していきます。

松山市の医療機関、行政機関（県、市）精神関係の活動をしている法人にお集まりいただき、2カ月に一度（奇数月）「精神保健福祉支援連絡会議」を開催しました。この会議は法人の事業に活動報告とともに、精神障害福祉に関する幅広い意見交換の場として重要な会となっています。

松山市が県の委託事業としてすすめている地域生活移行支援特別事業には法人から1名の地域移行推進員を登録し、退院促進に向けて活動を続けています。

また行政・各機関からの理解・協力を得る必要があることから、民生委員、生活福祉課担当者、権利擁護事業担当者等への協力依頼、調整、意見交換などを進めました。地域の自治会主催の会などにも法人としてスタッフが出席し、交流を深めました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	人数	支出額 (千円)
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	精神障害者共同生活介護事業 (ケアホーム)	4月1日 ～3月31日	松山市内	19名	松山市内の精神障害者 30名	49,911
障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業	地域活動支援センターⅡ型の運営 どんまいクラブ	4月1日 ～9月30日	松山市内	4名	松山市内の精神障害者 約30名	6,010
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	10月1日 ～3月31日	松山市内	5名	松山市内の精神障害者 約30名	10,407
障害者自立支援法に基づく地域生活支援事業	地域活動支援センターⅡ型の運営 ゆっくりクラブ	4月1日 ～3月31日	松山市内	4名	松山市内の精神障害者 約30名	14,334
障害者の地域生活支援に関する事業	まんてん企画	4月1日 ～3月31日	松山市内	1名	松山市内の精神障害者 40名	1,073

H22年度法人活動報告

- 4/1 どんまいハウス・こだち火災報知機導入
- 4/5 ケアホーム入居者選定会議（理事長、ケアホームスタッフ）
- 4/7 どんまい花見会（道後公園）
- 4/8 共同募金配分金交付式（スタッフ3名）
- 4/15 地域移行支援検討会（スタッフ1名）
- 4/27 愛媛新聞“松山市議に望む”記事掲載（スタッフ1名）
- 5/11 法人連絡協議会出席（理事長）
- 5/12 松山市精神障害者地域家族会「明星会」総会出席（スタッフ1名）
第18回精神保健福祉支援連絡会議（女性総合センター）
- 5/19 愛媛医療福祉専門学校実習生1名受け入れ（～5/21）
- 5/20 地域移行支援検討会（スタッフ1名）
- 5/22 H22年度通常総会開催
- 5/31 愛媛新聞“ザ・うれすじ”記事掲載
- 6/1 NPO法人どんまい登記変更
- 6/9 アグサス展示会出席（理事長・スタッフ2名）
- 6/14 聖カタリナ大学実習生1名受け入れ（～6/21、6/28～6/29）
- 6/17 地域移行支援検討会（スタッフ1名）
- 6/23 愛媛医療福祉専門学校実習生1名受け入れ（～6/25）
- 6/24 本町センター消防訓練
- 7/4 睡眠障害講習会参加（スタッフ1名）
- 7/7 第19回精神保健福祉支援連絡会議（女性総合センター）
- 7/13 法人連絡協議会出席（理事長）
- 7/15 第8号どんまい便り発行
- 7/16 松山市保健所デイケア研修会参加（メンバー・スタッフ）
- 7/27 きらりの森学習会参加（スタッフ9名、CH生活支援員4名）
- 8/2 東雲女子大学実習生1名受け入れ（～8/17）
- 8/4 就労継続支援B型事業所に関する重要事項説明会
- 8/10 きらりの森学習会参加（スタッフ5名）
- 8/12 NPO法人ほっとねっと「大」内覧会出席（スタッフ6名）
- 8/21 どんまい夕涼み会（CLUB HOUSE 夢家）・参加者約90名
- 9/1 第20回精神保健福祉支援連絡会議（女性総合センター）
- 9/6 四国中央医療総合福祉学院実習生1名受け入れ（～9/13）
- 9/8 地域活動支援センターどんまいクラブ・ゆっくりクラブ監査
- 9/13 ケアホーム入居者選定会議（理事長、ケアホームスタッフ）
- 9/16 地域移行支援検討会（スタッフ1名）
- 9/14 法人連絡協議会出席（理事長）
- 9/18 ゆっくりクラブ三番町に移転
- 9/21 新作業所での活動開始（ゆっくりクラブ・三番町）
- 9/22 どんまいハウス合同いも炊き
- 9/27 ケアホーム入居者選定会議（理事長、ケアホームスタッフ）
- 9/29 松山市障がい者就労支援プロジェクト会議参加（スタッフ1名）

- 10／1 どんまいクラブ「就労継続支援B型事業所」開所
- 10／9 ゆっくりクラブ内覧会開催
- 10／14 障害福祉サービス集団指導（スタッフ3名）
- 10／18 ケアホーム入居者選定会議（理事長、ケアホームスタッフ）
- 10／23 「こころの健康フォーラム in 余土」出店参加
- 10／24 どんまいハウス・ひなた消防訓練
- 11／9 法人連絡協議会出席（理事長）
- 11／10 第21回精神保健福祉支援連絡会議（女性総合センター）
- 11／13 愛媛新聞“「来年も仲良く」願う暦”記事掲載
- 11／15 ケアホーム入居者選定会議（理事長、ケアホームスタッフ）
- 第9号どんまい便り発行
- 11／25 どんまいハウス県実地指導（監査）
- 11／26 どんまいハウス（いずみ・こだち）消防定期点検
- 11／27 NPO大交流会（スタッフ4名）
- 12／6 ケアホーム担当者会議（ケアホームスタッフ）
- 12／9 サービス管理責任者研修（スタッフ1名）
- 12／13 合同消防訓練（全施設メンバー・スタッフ）
- 12／16 地域移行支援検討会（未参加）
- 12／21 ケアホーム担当者会議（ケアホームスタッフ）
- 12／22 どんまいハウス防火器具点検
- 12／27 ゆっくりクラブへ印刷機搬入
 （松山市障害者就労訓練設備等整備事業補助金より）
- 1／11 法人連絡協議会出席（理事長）
- 1／13 第22回精神保健福祉支援連絡会議（女性総合センター）
- 2／17 地域移行支援検討会（スタッフ1名）
- 3／2 第23回精神保健福祉支援連絡会議（女性総合センター）
- どんまいクラブ プチ内覧会
- 3／8 法人連絡協議会出席（理事長）
- 3／13 「こころの健康フォーラム」出店参加、企画・展示コーナー担当

平成23年度事業計画書（案）

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

NPO法人 どんまい

1 事業実施の方針

法人は、障害者共同生活介護事業所、障害者就労継続支援B型事業所の経営を事業の柱として、精神障害者の主体性、選択性を尊重した仲間作り、生きがい作り、障害者の人権に配慮したまちづくりに寄与したいと考えます。

- ① 障害者共同生活介護事業所（ケアホーム）においては、社会的入院を余儀なくされている方たちの退院後の生活のサポートが出来る“どんまいハウス”（こだち、いずみ、こもれび、わかば、ひなた）5施設の運営をして社会的入院の人の退院促進を進め、入居者の単身生活に向けた自立のサポートをしていきます。また人員の配置基準を増やし、より手厚い支援が行えるように事業展開をしていきます。
- ② 就労継続支援B型事業所“どんまいクラブ”では、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行っていきます。また施設外支援及び施設外就労も積極的にいき、通所者のそれぞれのニーズに応えられるよう、計画的に事業展開していきます。
- ③ 4月から就労継続支援B型事業所に移行をした“ゆっくりクラブ”は、日中活動や生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行っていきます。弁当作りや印刷製本を主体とした作業を通し社会とのつながりを作っていきます。また、利用者と目標を確認しながら一人ひとりにあった援助をおこない支援していきます。
- ④ 事業を進めていくためには、その事業に携わる人の育成も不可欠です。各事業所との交流会・勉強会なども企画し、研鑽に努める所存です。精神障害者に対する地域生活支援を進める中で市民の理解も不可欠です。各バザー・イベント・交流会などに利用者ともども積極的に参加して、市民との交流を深め、その理解を推進していきます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	精神障害者共同生活介護事業（ケアホーム） どんまいハウス	通年	松山市内	22名	松山市内の精神障害者30名	54,347
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	就労継続支援B型事業所 どんまいクラブ	通年	松山市内	7名	松山市内の精神障害者約25名	29,895
障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業	就労継続支援B型事業所 ゆっくりクラブ	通年	松山市内	7名	松山市内の精神障害者約30名	29,054
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	内外主催の研修会、他事業所との交流会、勉強会など	通年	松山市内	34名	全職員	500